PORTINC.

就活口コミ情報サイト「就活会議」M&Aの目的について



目次

- 1 キャリアパークについて
- 2 就活会議について
- 3 M&Aによるシナジーについて
- 4 就活市場に対する考え方について

PORTING.

キャリアパークについて

キャリアパークの概要

項目	内容
名称	○○
URL	https://careerpark.jp/
内容	自己分析、業界研究、履歴書、面接、マナー等の就活ノウハウを提供する情報サイト

▼就活セミナー 服装



▼履歴書 浪人

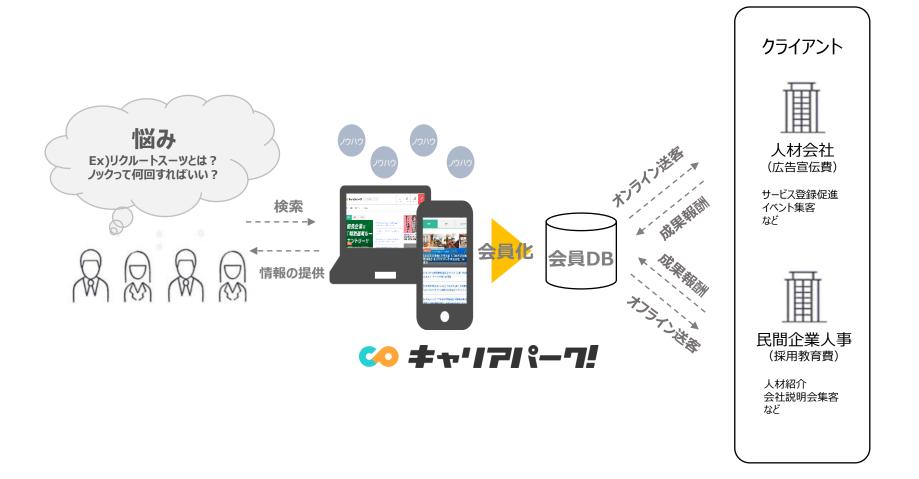


▼ドアノック 回数



就活領域のビジネスモデル

就活生に対して、インターネット上でノウハウ情報を提供し、無料で会員化を実施。 会員を当社クライアントに送客することで成果報酬を獲得。



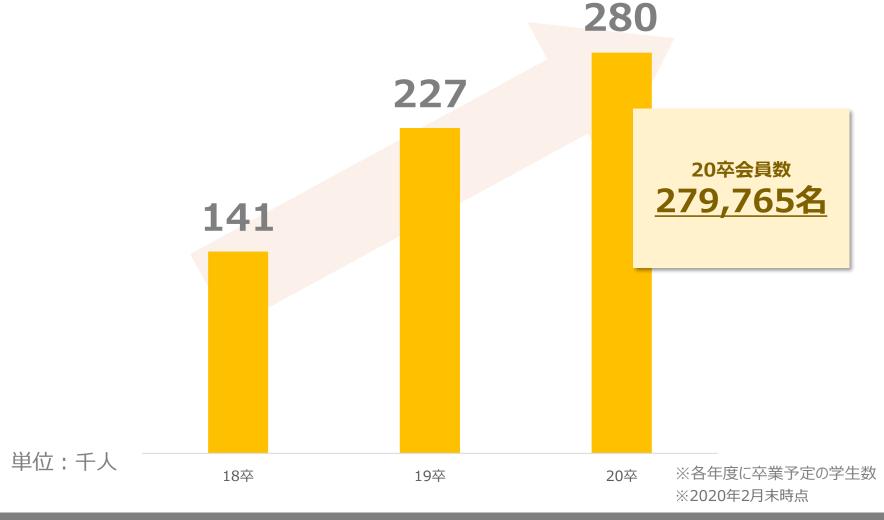
売上高の構成する指標

就活領域の売上高は会員数×一人当たりアクション数×単価で構成される。 会員数と一人当たりアクション数を順調に向上させることで、これまで業績拡大を継続。



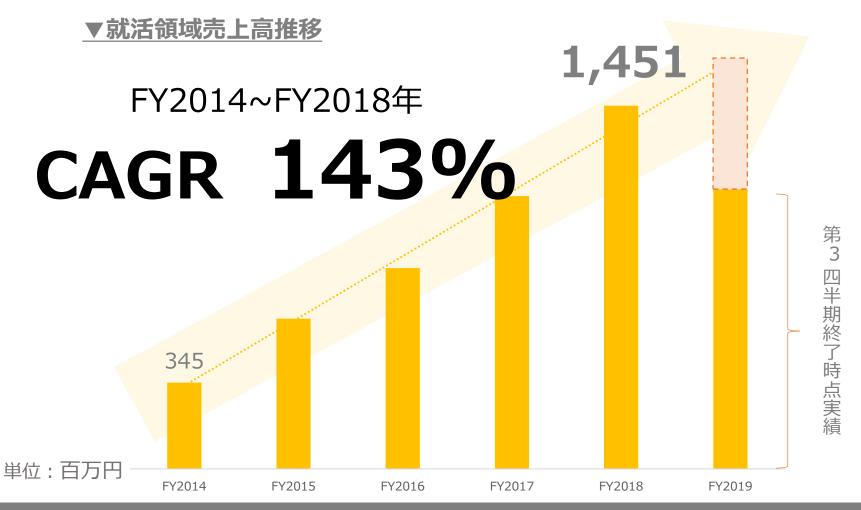
キャリアパーク会員数の推移

会員数は順調に伸びており、20卒の就活生は28万人ほどの就活生の会員化に成功。



就活領域売上高推移

就活領域はこの5年間ほどで飛躍的な成長をしており、全社の業績を牽引。 独自の会員獲得マーケティングを強みに、順調に業績を拡大中。



就活領域の成長ドライバー

会員数、一人当たりアクション数ともにまだまだアップサイドがあり、単価が変化せずとも 就活領域のポテンシャルは引き続き十分に存在。



^{※1}株式会社リクルート 第36回ワークス大卒求人倍率調査 (2020卒) (https://www.recruit.co.jp/newsroom/pdf/20190424_01.pdf) をベースにいわゆる就職浪人生等を考慮して当社推計 (2019年) は、1970年 1970年 1970

^{※2}株式会社リクルートキャリア 就職白書2019 (https://data.recruitcareer.co.jp/wp-content/uploads/2019/02/c07a2df34dc6f701c465a6dbc3df4850.pdf) より当社推計

^{※3}当社実績より中央値を選定

就活領域の成長戦略

就活領域においては、コンテンツの拡充と、会員マーケティングの最大化により成長を実現していく。

会員数

コンテンツの拡充と 網羅性の向上

資産性の高いストック型コンテンツへの投資によって網羅性を高め、ユーザーとのタッチポイントを増加させ、会員規模を50万人以上に成長させ、名実ともに就活対策メディアとしてNO.1を獲得する。

会員一人当たり アクション数

会員マーケティング 最大化

安定した会員獲得に依拠した自社データ ベース(会員)を活用したマーケティングを 強めること、一人一人のリテンションを高め、 売上ポテンシャルの最大化を目指す。

当社コンテンツの課題感

キャリアパークはノウハウやイベント情報はコンテンツカバー率が高い一方、企業情報などを求める就活生のニーズには 十分に答えられていない。

就活生情報ニーズ

ノウハウ情報 自己分析の方法、企業研究方法 イベント情報合同説明会、就活イベント

企業情報
A社のエントリーシートロコミ
面接ロコミ









コンテンツカバー率※

70%

90%

10%

※コンテンツカバー率は当社の独自の集計に基づき、各カテゴリに属する検索ワードのうち、当社メディアがが1セッション以上獲得している検索ワードの数の割合

PORTING.

就活会議について

就活会議の概要

項目	内容
名称	○ 就活会議
URL	https://syukatsu-kaigi.jp/
内容	ES・選考体験記・インターン体験記等の就活口コミと 従業員・元従業員による企業口コミを有する新卒就活サービス

▼トップページ



▼口コミページ

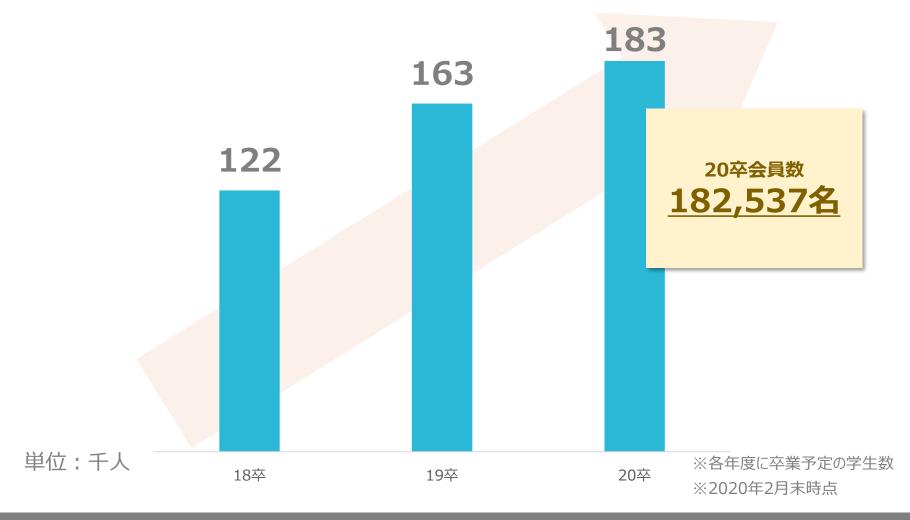


▼ES検索ページ



就活会議会員数の推移

会員数も順調に伸びており、20卒は約18万人の会員を獲得。



キャリアパーク&就活会議比較





就活ノウハウ情報サイト

掲載情報

就活企業口コミ情報サイト

2014年6月

開始時期

2015年4月

約28万人(20卒)

会員数

約18万人(20卒)

ノウハウ記事:約20,000

コンテンツ数

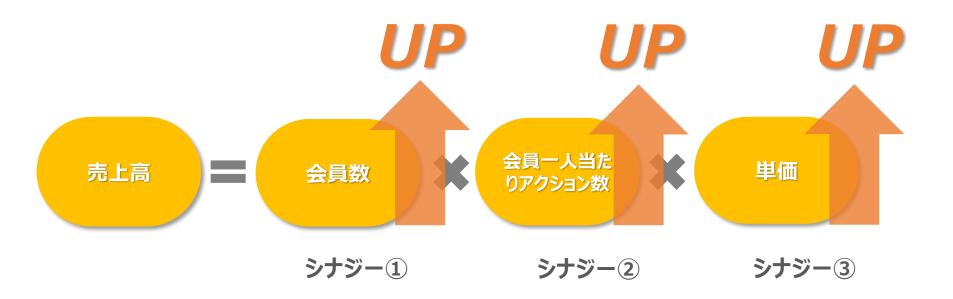
全体口コミ数:約400,000

PORTING.

M&Aによるシナジー

各指標に対する影響

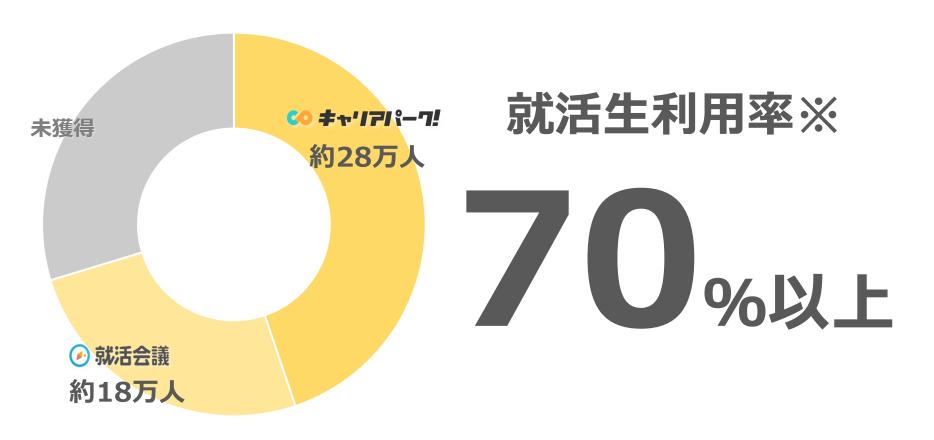
売上高を構成する、会員数、会員一人当たりアクション数、単価全てに対して上昇影響を与える。



シナジー①-1 業界有数の会員数規模へ

全就活生数のうち約7割、また1世代あたり4割程度が当社グループ会員となり、業界トップ水準の会員規模となる。

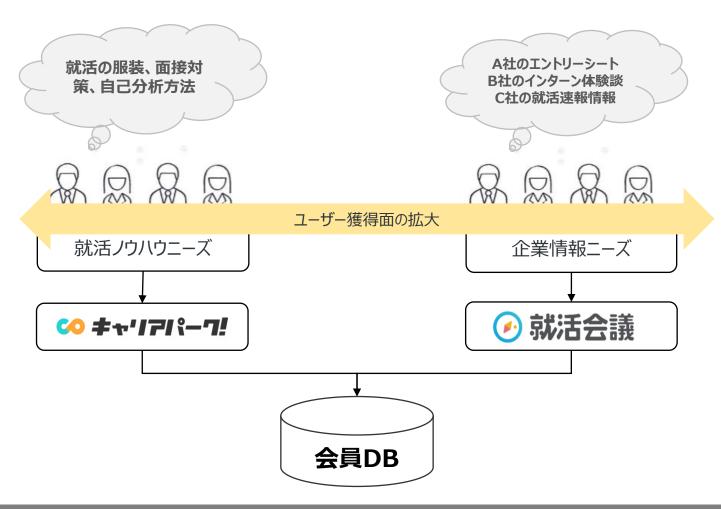
就活生全体に占める当グループ会員の比率イメージ



※就活生数を50~60万人として単純合算で46万人が当グループ会員になると想定。

シナジー①-2 コンテンツ増加による面の拡大

コンテンツの量・種類ともに大きく増大させることで、これまでリーチできていなかったユーザー層へのアプローチが可能。 当社の課題感であったコンテンツの充足を図る。



シナジー② 会員一人当たり売上高の改善

※1 キャリア領域今期業績予測より※2 2019年12月期実績※3 2020年2月末時点

※4 会員一人当たり売上高=売上高÷会員数

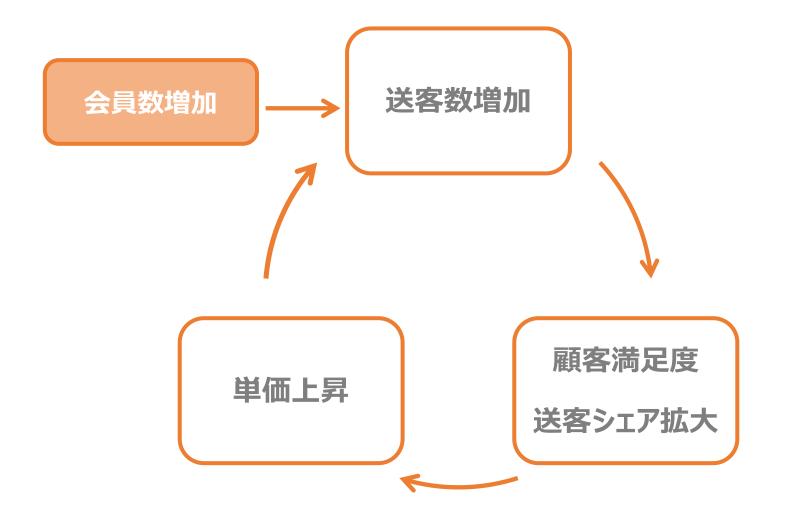
当社マーケティングオペレーションを適用することで、就活会議の送客転換率を改善し 会員一人当たりの売上高を改善できるものと考える。



[©]PORT INC. ALL RIGHTS RESERVED

シナジー③ 送客ボリューム増加による単価向上

送客可能数を増加させ、顧客満足度、送客シェアを高めることで、単価向上に期待。

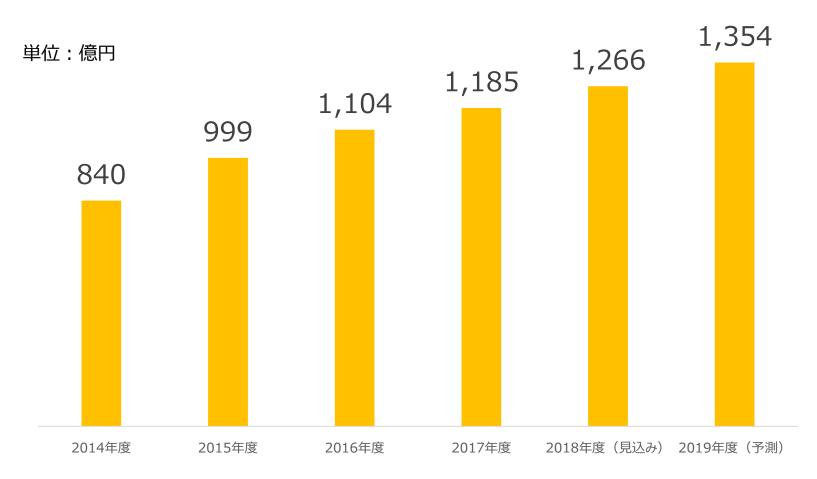


PORTING.

就活市場に対する考え方

新卒採用支援市場規模の推移

近年新卒採用支援市場は規模を拡大しており、中でも人材紹介、小規模型マッチングイベント、ダイレクトリクルーティングなど既存の求人媒体以外の市場が大きく伸びている。

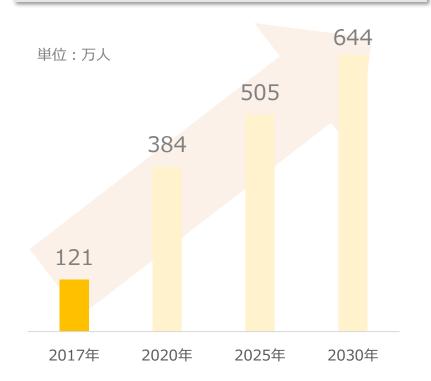


※矢野経済研究所 新卒採用支援市場の現状と展望2019年度版 https://www.yano.co.jp/press-release/show/press id/2122より

慢性的な人手不足

日本の労働市場における人材不足は今後ますます拡大し、2030年には644万人の労働力が不足すると推計されている。 特に従業員数200名以下の中小企業を中心に大卒者の有効求人倍率は高い水準で推移。 これまでの求人媒体中心の採用スタイルから、より確実に採用できる人材紹介等の手法を活用する企業が 中小企業を中心に増加し、新卒採用支援市場の多様化と拡大を牽引。

日本労働市場における人手不足数の推計



※労働市場の未来推計 https://rc.persol-group.co.jp/roudou2030/

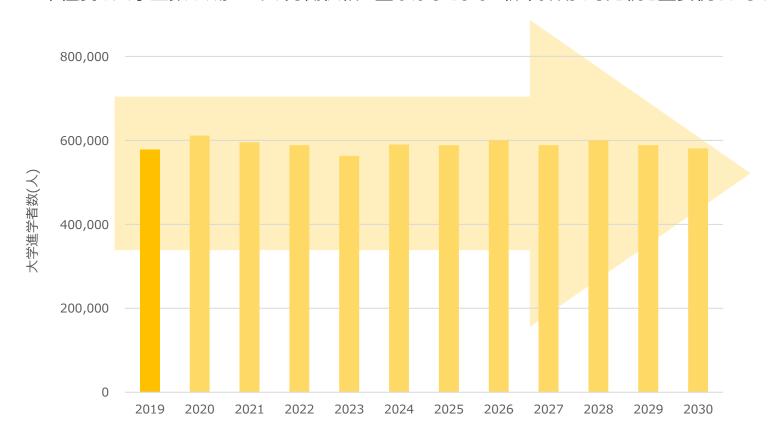
中小企業の大卒求人倍率の推移



※ 株式会社リクルート 第36回ワークス大卒求人倍率調査(2020卒)(https://www.recruit.co.jp/newsroom/pdf/20190424_01.pdf)

大学生数の推移

昨今の人口減少局面においても、進学率の高まりにより大学生数の数は一定に推移しており、 向こう10年程度は大学生数は減少せず、労働供給の主な源泉としての新卒採用は引き続き重要視されるものと考える。

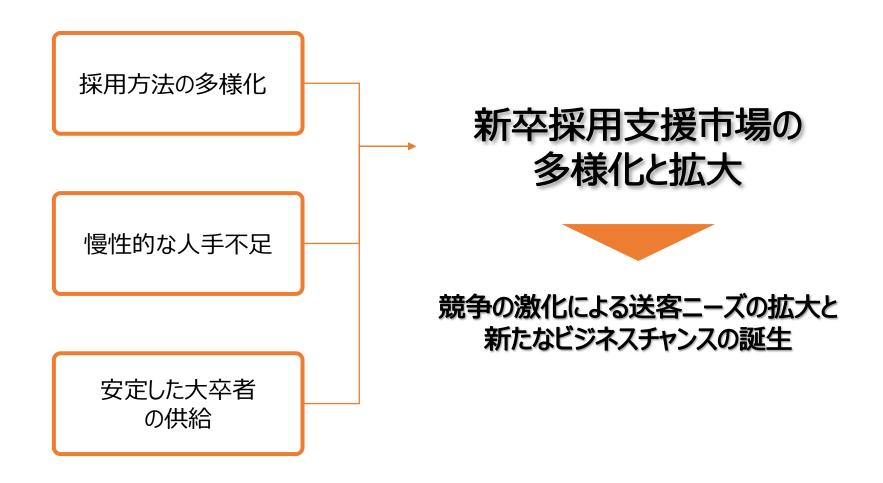


【参考】

- ①厚生労働省平成30年(2018)人口動態統計月報年計(概数)の概況
- ②文部科学省 令和元年度学校基本調査速報
- ③文部科学省 大学への進学者数の将来推計について

新卒採用支援市場の今後

今後も就活採用支援市場は拡大、変革していくものと推測され、そこには新たなビジネスチャンスが存在していると考える。



ディスクレーマー

■将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。
- これらは現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を 負うものではありません。

